

札幌市しせいかん保育園

令和4年度 事業報告書

法人名 社会福祉法人 救世軍社会事業団

法人代表者 石川 一由紀

施設名 札幌市しせいかん保育園

施設代表者 施設長 吉村 政美

<目次>

| | |
|----------------------|------------|
| 1. 救世軍社会福祉事業の理念 | -----1 |
| 2. しせいかん保育園の理念 | -----1 |
| 3. 施設概要 | -----1 |
| 4. 法人理事・監事・評議委員 | -----2 |
| 5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色 | -----2～3 |
| 6. 聖書の学び・三園連絡会議 | -----4～7 |
| 7. 入所児童数 | -----8 |
| 園児動向 | |
| 時間外保育・一時保育利用数 | |
| 8. 職員に関する実績 | -----9～11 |
| 職務分担・職員名簿 | |
| 職員の資質向上・職員研修 | |
| 法人三園合同行事・福利厚生 | |
| 9. 保育課程 | -----12～14 |
| 保育の内容 | |
| 各年齢のまとめ | |
| 10. 年間行事報告 | -----15～16 |
| 11. 食育実践 | -----16 |
| 12. 施設設備に関する実績 | -----17 |
| 施設設備 | |
| 13. 保健計画実績 | -----17～19 |
| 健康管理・事故及び負傷 | |
| 新型コロナウイルス感染状況 | |
| 14. 防災計画実績 | -----20～21 |
| 15. 要望・苦情に対する対応 | -----21 |
| 16. 保護者に関する実績 | -----21～22 |
| 父母の会・懇談会・親子観劇 | |
| 保育アンケート結果 | |
| 17. 施設間と地域との交流実績 | -----22 |

1. 救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとり愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

2. しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

3. 施設概要

| | |
|--------|--|
| 種別名称 | 札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園 |
| 所在地 | 札幌市中央区南3条西7丁目1-1 |
| 電話 FAX | 電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570 |
| 設置主体 | 札幌市 |
| 経営主体 | 社会福祉法人 救世軍社会事業団 |
| 法人代表者 | 理事長 石川 一由紀 |
| 園長 | 安達 津恵子 |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り 5階建 (保育園部分 1階一部 2階一部) |
| 建物面積 | 保育園部分 1,015.15㎡ |
| 事業開始 | 平成16年4月1日 |
| 定員 | 120名(通常保育80名 夜間保育40名) |
| 保育実施事業 | 産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育 |
| 保育年齢 | 0歳(産休明け)～就学前 |
| 保育時間 | 昼型 標準時間:7～18時 延長:18～19時 短時間 :8時～16時 夜型 標準時間:10～21時 延長:8～10時、21～22時 短時間 :13時～21時 |
| 休園日 | 日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3) |

4. 法人理事・監事・評議員

理事・監事

| 氏名 | 役職名 |
|-------------|-----|
| 石川一由紀 | 理事長 |
| スティーブン・モーリス | 理事 |
| 高澤眞智子 | 理事 |
| 細貝順子 | 理事 |
| 久富直樹 | 理事 |
| 石出道雄 | 理事 |
| 伊吹正典 | 理事 |
| 繁田勝男 | 監事 |
| 内田肇 | 監事 |

評議員

| 氏名 | |
|-------|-----|
| 西村保 | 評議員 |
| 寺澤勇 | 評議員 |
| 梅田久恵 | 評議員 |
| 秋山智久 | 評議員 |
| 石川和男 | 評議員 |
| 堀千鶴子 | 評議員 |
| 黒澤百合子 | 評議員 |
| 島田裕司 | 評議員 |
| 網島実 | 評議員 |

5. 保育の方針・保育目標・保育園の特色

<保育の方針>

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設(資生館小学校、子育て支援総合センター、ミニ児童会館、しせいかん保育園)の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していける場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通し、自然

とのかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしっかりむすんでいけるよう育てていきたい。

<保育目標>

1. 心身ともに元気な子ども
 - ・ 規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
 - ・ くつろいだ雰囲気子ども様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
 - ・ 全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。
2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども
 - ・ 積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とのかかわりあいを学ぶ。
3. 自分のことは自分でする子ども
 - ・ 基本的な生活習慣を身につける。

<保育園の特色>

平成16年に札幌都心部にあった小学校統合にともない、資生館小学校を基幹とした子ども関連複合施設の設立がなされ、ここに保育園部門として夜間保育を含む乳幼児120名定員で開園する。

前身は豊水保育所であったが、指定管理者の指定を受け保育業務を行っている。入園児は地域に住む子どもばかりでなく、勤務先が園の近くにあるということで、地下鉄・電車等で遠方から通園してくる子どももいる。保護者の勤務時間が年々長くなり、延長保育を利用する家庭が増えている。

夜間保育は、美容師・デパート・飲食店などのサービス業の家庭の利用が多く、22時終了までの保育の子どもに疲れが見られる。園の周りは繁華街で、子どもの遊びに適した場所が少ない。そのような中でも、日々の散歩や交通機関を利用して自然の中で遊ぶことを工夫している。

子ども関連複合施設の利点として、乳幼児期から小学校期までの子育ての見通しをもつことができる。年間を通して、小学校・子育て支援総合センター・ミニ児童会館・保育園の交流が行われている。異年齢の交流、特に年長児は小学生との交流の積み重ねによって、次への見通しを持つことができ、良い経験となっている。保護者にとっても、多彩な年齢の子どもの活動を目にすることで、年齢ごとの子どもの育ちを実感できている。

保育士も子どもたちと一緒に交流に参加することで、日常と違う角度から子どもたちを見ることができ、そのことが保育に活かされるようになってきた。また、教員や指導員と話し合うことで、子どもの育ちの学びが広がったり、保護者へのアドバイスにも参考になっている。

6. 聖書の学び・三園連絡会議

<聖書の学び>

■毎週火曜日に4歳児クラスと5歳児クラスが聖書と賛美の学び

■毎月第3木曜日に職員が聖書と賛美の学び

| 月 | 賛美 (上段：子ども 下段：職員) | 聖書のことば (上段：子ども 下段：職員) |
|----|----------------------|--|
| 4月 | ハレルヤ | 「わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。」 (誌編 121 編 2 節) |
| | ハレルヤ | 「わたしの助けは来る 天地を造られた主のもとから。」 (誌編 121 編 2 節) |
| 5月 | 主はすばらしい | 「子どもをわたしのところに来させなさい。」 (マルコによる福音書 10 章 14 節) |
| | 主はすばらしい | 「子どもをわたしのところに来させなさい。」 (マルコによる福音書 10 章 14 節) |
| 6月 | いつにても いずこにも | 「探しなさい。そうすれば、見つかる。」 (マタイによる福音書 7 章 7 節) |
| | いつにても いずこにも | 「探しなさい。そうすれば、見つかる。」 (マタイによる福音書 7 章 7 節) |
| 7月 | よろこびはわがこころに | 「主に向かって 心からほめ歌いなさい。」 (エフェソの信徒への手紙 5 章 13 節) |
| | よろこびはわがこころに | 「主に向かって 心からほめ歌いなさい。」 (エフェソの信徒への手紙 5 章 13 節) |
| 8月 | ありがとう | 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。 どんなことにも感謝しなさい。」 (テサロニケの信徒への手紙 5 章 16～18 節) |
| | ありがとう | 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。 どんなことにも感謝しなさい。」 (テサロニケの信徒への手紙 5 章 16～18 節) |
| 9月 | イエス様のちからによって | あるものは百倍にもなった。 (マルコによる福音書 4 章 8 節) |
| | イエス様のちからによって | あるものは百倍にもなった。 (マルコによる福音書 4 章 8 節) |

| | | |
|-----|--------------|--|
| 10月 | 主の喜びが心にあれば | 「その人は豊かに身を結ぶ。」 (ヨハネによる福音書 15 章 5 節) |
| | 主の喜びが心にあれば | 「その人は豊かに身を結ぶ。」 (ヨハネによる福音書 15 章 5 節) |
| 11月 | イエスによりわれらは一つ | 「わたしの隣人とはだれですか。」 (ルカによる福音書 10 章 29 節) |
| | イエスによりわれらは一つ | 「わたしの隣人とはだれですか。」 (ルカによる福音書 10 章 29 節) |
| 12月 | うれしい うれしい | 「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 (ルカによる福音書 2 章 15 節) |
| | うれしい うれしい | 「さあ、ベツレヘムへ行こう。」 (ルカによる福音書 2 章 15 節) |
| 1月 | いっしょにうたおう | 「一緒に喜んでください。」 (ルカによる福音書 15 章 6 節) |
| | いっしょにうたおう | 「一緒に喜んでください。」 (ルカによる福音書 15 章 6 節) |
| 2月 | 心に神の愛を | 「ここに愛があります。」 (ヨハネの手紙 4 章 10 節) |
| | 心に神の愛を | 「ここに愛があります。」 (ヨハネの手紙 4 章 10 節) |
| 3月 | 全地よ さけべ | 「強く、雄々しくあれ。」 (ヨシュア記 1 章 6 節) |
| | 全地よ さけべ | 「強く、雄々しくあれ。」 (ヨシュア記 1 章 6 節) |

※新型コロナウイルス感染症防止の為
職員会議は、日中に時間短縮をして職員会議をおこないません。
会議の前には御言葉を配布し、聖歌・聖句の確認をしてから始めました。

<三園連絡会議>

| 月日 | 賛美と聖書 | 議題 |
|-------|--|---|
| 4月20日 | | <ul style="list-style-type: none"> ・各園の状況報告 三園共に定員割れでのスタート 人材確保と新人育成にどう取り組んでいくのか 苦情問題に対するの保育園側の対応について ・しせいかん…指定管理の契約について 定員割れと夜間利用者の減少が数年続く。 定員の変更について (札幌市に説明出来るよう、現況を分析し資料作成) ・認定こども園移行について 三園がそれぞれに考え情報集めをしていく。 |
| 6月29日 | | <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則について 就業規則等は7月上旬には三園に返送 36協定は労基署に提出、深夜割増手当も支払うこと ・各園の状況説明とコロナ感染状況 桑園の運営について ・しせいかん指定管理継続について 来月、札幌市の考えを聞く。しせいかんの現状を話す。 ・認定こども園について 認定こども園のニーズを探る。 地域の中の役割を考える(1号認定のお子さんの把握) 三園の入所状況・財政状況を資料としてまとめる。 認定こども園についての情報を再度集める。 ・7月の予定確認 会計監査・全国中堅職員研修 |
| 7月20日 | <p>三園リモート会議</p> <p>● 社会部長</p> <p>● 連隊長夫妻</p> <p>三園園長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園移行について 移行検討資料を基に移行について検討 ・菊水上町は移行申請を提出希望 今後の保育運営を考える。 財政的問題だけではなく地域の中の保育園の働きを考える。 職員への説明と理解と協力を得る。 ・社会部長が来札時に職員と面接し検討する。 ・ホームページ作成を進める |
| 7月26日 | <p>● 社会部長来札</p> <p>[午前中]</p> <p>未来局訪問</p> <p>・社会部長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市未来局訪問 ● 社会部長から未来局へ挨拶 三園の入所状況等の資料を提示し各園ごとに説明をする。 しせいかんは指定管理保育園継続の課題と問題点について。 認定こども園移行についてへの質問等。 ・札幌市未来局の考え状況説明を聞く。 |

| | | |
|---------------------|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・三園園長 <p>札幌市未来局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営課 ・保育推進課 ・子育て支援課 <p>(担当者が出席)</p> <p>[午後]</p> <p>小隊にて会議</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園移行について <p>職員との確認・一致で進める。 27日 上町保育園にて認定こども園移行の予算計画の説明 今後の取り組みの確認(必要書類提出:8月23日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園の状況説明(コロナ感染等) <p>三園の園長間の情報交換や一致が求められる 人材確保に関しては「人材の共有」も視野に入れる。</p> |
| 11月5日 | <ul style="list-style-type: none"> ■社会部長来札 | <ul style="list-style-type: none"> ・各園の状況説明 <p>運営状況・予算執行状況と一次補正(桑園の資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが減少していく札幌市、経営の再建と今後の方向性 ・菊水上町保育園の新たな運営規程・しせいかん指定管理継続 ・三園人事 <p>人事交流・リーダー育成・保育を担う人材育成への課題と取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成(4月には間に合うように) ・コロナ感染の状況に応じた行事の取り組み確認 ・3月退任式・4月就任式 |
| 令和5年 2月6日 | <p>リモート会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会部長 <p>事務局 ■■■■■</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・育児看護規程についての確認 <p>規程等が変更した場合は必ず職員に周知していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各園の状況報告(コロナ感染・インフルエンザ) ・3月行事予定確認 <p>卒園式の参加(保護者・在園児・在園の兄弟・4歳児のみ) 3/26(日)安達園長退任式 4/23(日)吉村園長就任式</p> |
| 3月25日 ～ 3月26日 | <ul style="list-style-type: none"> ■社会部長来札 | <ul style="list-style-type: none"> ・桑園保育所の苦情について <p>状況説明(時系列に沿って)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑園保育所の苦情対応の今後の方向性について <p>(札幌市未来局・保護者・職員)</p> |

今年度は、三園の運営状況や認定こども園移行、指定管理継続契約、ホームページ作成と苦情問題等大きな議題に取り組んできましたが、定員割れ、人材不足からの運営危機問題や保護者との信頼関係作り、保育の検証と継承、保育士の育成等の課題が残されました。今後もより一層、三園の連絡会の中で様々な問題、課題について協議しと取り組んでいくと共に、園長同士助け合い、日頃の情報交換も密にしなが、三園の保育園が良い方向に向かえるように力を合わせていきたいと思ひます。

7. 入所児童数<園児動向>

| 月 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 4月 | 8 | 13 | 17 | 20 | 22 | 22 | 102 |
| 5月 | 7 | 14 | 18 | 20 | 21 | 22 | 102 |
| 6月 | 7 | 14 | 18 | 20 | 21 | 22 | 102 |
| 7月 | 7 | 14 | 18 | 20 | 21 | 22 | 102 |
| 8月 | 8 | 14 | 19 | 20 | 21 | 22 | 104 |
| 9月 | 9 | 14 | 19 | 20 | 21 | 22 | 105 |
| 10月 | 9 | 14 | 19 | 20 | 21 | 22 | 105 |
| 11月 | 11 | 15 | 19 | 20 | 21 | 22 | 108 |
| 12月 | 11 | 14 | 19 | 20 | 21 | 22 | 107 |
| 1月 | 11 | 13 | 19 | 20 | 21 | 22 | 106 |
| 2月 | 12 | 13 | 19 | 20 | 21 | 22 | 107 |
| 3月 | 12 | 13 | 19 | 20 | 21 | 22 | 107 |
| 計 | 112 | 165 | 223 | 240 | 253 | 264 | 1,257 |

<時間外保育・一時保育利用数>

| 月 | 昼型時間外 | 夜型時間外 | 時間外合計 | 一時保育 |
|-----|-------|-------|-------|------|
| 4月 | 294 | 28 | 322 | 0 |
| 5月 | 298 | 23 | 321 | 0 |
| 6月 | 311 | 11 | 322 | 0 |
| 7月 | 282 | 14 | 296 | 0 |
| 8月 | 306 | 19 | 325 | 0 |
| 9月 | 342 | 17 | 359 | 5 |
| 10月 | 285 | 23 | 308 | 19 |
| 11月 | 220 | 32 | 252 | 11 |
| 12月 | 284 | 23 | 307 | 0 |
| 1月 | 307 | 17 | 324 | 1 |
| 2月 | 301 | 20 | 321 | 0 |
| 3月 | 323 | 37 | 360 | 0 |
| 計 | 3,553 | 264 | 3,817 | 36 |

8. 職員に関する実績

<職務分担・職員名簿>

| 職種 | 職務分担 | 氏名 |
|-------|--|-------|
| 園長 | 経営管理、運営管理、法人関係、役所関係、業者関係、園内庶務一般 | 安達 |
| 主任保育士 | 園長・担任保育士との連絡調整、保育の指導・育成、勤務表作成、勤務調整、研修および休暇者の代替え、クラスの点検、各種プログラム、遊具および備品の安全点検と整理整頓 | ■■■■■ |
| 保育士 | 5歳児(かもしか組)クラス運営:園児 22名 | ■■■■■ |
| | 4歳児(あひる組)クラス運営:園児 21名 | ■■■■■ |
| | 3歳児(ひつじ組)クラス運営:園児 20名 | ■■■■■ |
| | 2歳児(きりん組)クラス運営:園児 19名 | ■■■■■ |
| | 1歳児(うさぎ組)クラス運営:園児 13名 | ■■■■■ |
| | 0歳児(ぺんぎん組)クラス運営:園児 12名 | ■■■■■ |
| | 夜間保育 | ■■■■■ |
| | 幼児フリー | ■■■■■ |
| 乳児フリー | ■■■■■ | |
| 調理員 | 給食実務全体の管理、献立確認、材料の発注受払、調理配膳、調理室清掃、食器洗浄、献立確認 | ■■■■■ |
| 用務員 | 園内清掃 | ■■■■■ |
| 事務員 | 園内庶務一般 | ■■■■■ |
| 嘱託職員 | 法人理念の指導、園児への情操教育、三園連絡会への出席と助言 | ■■■■■ |
| 嘱託医 | 園児健康診断・歯科健診 | ■■■■■ |

3月園児数合計・・・107名 職員数合計・・・29名(嘱託含む)

<職員資質向上・職員研修>

(1)園外研修報告

| 日付 | 研修名 | 主催 | 参加者 |
|------|----------------------|-----|-------|
| 5/31 | 乳児期の身体の発達を育む関わり | 私保連 | ■■■■■ |
| 6/1 | 乳児期の身体の発達を育む関わり | 私保連 | ■■■■■ |
| 6/2 | リーダー研修～災害時におけるICTの活用 | 私保連 | ■■■■■ |

| | | | |
|---------|--------------------|------------|---------------------|
| 6/16 | 乳児期の身体の発達を育む関わり | 私保連 | ■■■■ |
| 6/21 | 救世軍リーダー研修 | 救世軍 | ■■■■ |
| 6/29 | 絵本を活用した保護者への支援について | 私保連 | ■■■■ ■■■■ |
| 7/12 | 保育園の役割と保育士の専門性 | 私保連 | ■■■■ |
| 7/12～13 | 救世軍中堅職員研修 | 救世軍 | ■■■■ |
| 7/14 | 持続可能な施設経営を確保するために | 私保連 | ■■■■ |
| 9/6 | 幼児に必要な運動あそび | 私保連 | ■■■■ ■■■■ |
| 9/22 | 保護者から信頼される保育者 | 私保連 | ■■■■ ■■■■ ■■■■ |
| 9/30 | 私保連研究大会 全体会 | 私保連 | ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ |
| 10/1 | 私保連研究大会 分科会 | 私保連 | ■■■■ ■■■■ ■■■■ ■■■■ |
| 10/19 | 幼保小ブロック研修 | 幼保小連携推進協議会 | ■■■■ |
| 10/27 | 乳児保育 | 私保連 | ■■■■ |
| 11/30 | 札幌市児童発達支援センター研修 | 私保連 | ■■■■ |
| 1/13 | 新しい時代の私たちのやりたい保育とは | 私保連 | ■■■■ ■■■■ ■■■■ |
| 2/24 | コロナ禍における保育について | 私保連 | ■■■■ |
| 3/2 | コロナ禍における保育について | 私保連 | ■■■■ |
| 3/3 | コロナ禍における保育について | 私保連 | ■■■■ |

| | | |
|---------------------|--------|-----------|
| キャリアアップ研修（北海道保育協議会） | | |
| 2/4～5 | マネジメント | ■■■■ ■■■■ |

(2)園内研修報告

| 日付 | 内容 | 日付 | 内容 |
|------|--------------------|-------|------------------------------|
| 4/4 | 前年度の反省、係決め | 10/13 | 私保連研究大会報告(全体会・分科会) |
| 5/19 | 学習会年間計画づくり、水遊びについて | 12/8 | リズムあそびについて (11月担当欠席により延期) |
| 6/9 | 救急法について | 12/14 | リズム:早寝早起きについて |
| 7/14 | 集団について | 1/11 | リズム:社会環境の変化について |
| 8/9 | 食について | 2/8 | うた・リズム:手づかみ食べについて |
| 9/8 | 運動会準備 | 3月 | 卒園式準備 |

(3)職員会議等実績

| 月 | 職員会議 | 学習会 | 三園連絡会 | 期の総括 | 指導監査 | 法人監査 | 備考 |
|-----|------|--------|--------|------|---------|------|----------------|
| 4月 | 14日 | 4日 | 20日 | | | | |
| 5月 | 12日 | 19日 | | | | | |
| 6月 | 16日 | 9日 | 29日 | | | | |
| 7月 | 21日 | 14日 | 20・26日 | 16日 | | 9日 | 財務部長 |
| 8月 | 18日 | 9日 | | | | | |
| 9月 | 15日 | 8日 | | | | | |
| 10月 | 20日 | 13日 | | | 31日～ | | 指定管理監査(11/7まで) |
| 11月 | 17日 | 延期 | 5日 | | 7日(4日間) | 5日 | 事務部長 |
| 12月 | 15日 | 8日・14日 | | 3日 | | | |
| 1月 | 19日 | 11日 | | | | | |
| 2月 | 16日 | 8日 | 6日 | | 9日 | | |
| 3月 | 16日 | 卒園式準備 | 25～26日 | 25日 | | | |

<法人三園合同行事>

救世軍リーダー研修 6/21 救世軍中堅研修 7/12～13・10/28 三園主任交流会 8/30
 救世軍全国施設長会議 9/6～8 救世軍新人研修 11/7
 新型コロナウイルス感染症対策の為、クリスマス会 中止

<福利厚生>

- ・ 職員健康診断
- ・ 被服費支給
- ・ インフルエンザ予防接種補助
- ・ 不織布マスク・抗原検査キット配布

9. 保育課程 <保育の内容>

| | | | | | | | |
|----------------------|---|--|--------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|-----------------|
| 保育理念 | 後世軍の主義及び精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が心も身体も健全に成長するために地域と共に歩む共同体を目指す。 | | 保育目標 | ・心身ともに元気な子ども ・自分の思いを表現し相手の気持ちを思いやる子ども ・自分のことは自分でする子ども | | | |
| 保育方針 | 乳幼児期は人間形成において基礎となるきわめて重要な時期です。家庭との連携を大切にして元気で明るい子に育てていく。 | | 保育時間 | 昼型 | 7:00-18:00(-18:00時間外) | | |
| | | | 夜型 | (8:00-19:00時間外)10:00-21:00(-22:00時間外) | | | |
| | | | 主な行事 | 園外保育、誕生会、クラス懇談会、夏祭り、お遊り会、運動会、クリスマス会、果物狩り、秋葉祭、餅つき、節分、卒園式 | | | |
| 子どもの保育目標 | 0歳児 | 生活リズムを整え、快・不快の感覚を育てる。 | 1歳児 | 安心できる保育士との関係の中で自分の思いを出す。 | | | |
| | 2歳児 | 生活習慣が身につく。友達と遊ぶ楽しさが広がる。 | 4歳児 | 仲間や保育士と遊ぶことが楽しくなり、簡単なルールを守って遊ぶことができるようになる。 | | | |
| 教育 | 養護 | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
| | | 一人ひとりの健康状態を把握し、生活リズムを整えていく。 | 安心できる保育士と信頼関係を育み、子どもの心を豊かにする。 | 生活や遊びを通じて自我を育てる。 | 基本的な生活習慣の自立に向けて援助する。 | 身の回りのことなど自分でできることは自分でする。 | 基本的な生活習慣を身につける。 |
| | 子どもの欲求などに応答的なふれあいや言葉掛けを行い、安心感を増やしていき、生活リズムを整える。 | 保育士との関わりの中で、安心感を持ち自分の気持ちを表現していく。 | 保育士に気持ちを伝え、受け止めてもらいながら安心して遊ぶ。 | 保育士との信頼関係の中で自分の気持ちをしっかりと出す。 | 生活や遊びを通じて友達の中で自分を表現していく。 | 保育士や友達に受け止められながら自己肯定感を育てていく。 | |
| | 快・不快を感じられる心地よい環境づくり。 | 「自分で」の気持ちを育て尊重する。着脱を自分でしようとし、快・不快を感じていく。 | 保育士の援助を受けながら自分の身の回りのことをしようとする。 | 生活の中で自分の身の回りのことをする。 | 自分の身体に異変を感じたら自分から保育士等に知らせる。 | 危険な場所・物・行動が分かる。安全に気をつけた遊びや行動をする。 | |
| | 担任保育士等との安心できる関係づくり。 | 身近な大人や友達に関心をもち、真似をしたり関わろうとする。 | 保育士の援助により友達に関心をもち、一緒に遊ぶ。 | ごっこ遊びなどを通して簡単なルールがわかるようになり、友達と楽しく遊ぶ。 | 友達と共同で道具を使ったり、相手のことを思いながら行動する。 | 生活や遊びを通して、友達と協力する大切さを知る。 | |
| | 安心できる人的及び物的環境を整えていく。 | 好きな玩具や遊具に興味を持ち、様々な遊びを楽しむ。 | 身近な自然に触れながら、好奇心を探究心が生まれてくる。 | 生活や遊びを通して、絵本や紙芝居を楽しむ。自分の意志を言葉で伝え、相手の意もよく伝える。 | 絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友達との会話を楽しむ。 | 自分の感じたことや考えたことを相手にわかりやすいように話す。 | |
| | 豊かな言葉掛けや歌声・スキンシップ等を通して感情が育まれる。 | 言葉や一文、指差し、身振りなどで自分の意志を伝えようとする。 | 生活や遊びを通して、友達や言葉でのやり取りを楽しむ。 | 絵本や紙芝居を楽しむ。自分の意志を言葉で伝え、相手の意もよく伝える。 | 絵本などに興味を持ち、イメージを広げながら友達との会話を楽しむ。 | 自分の感じたことや考えたことを相手にわかりやすいように話す。 | |
| 元気や水・泥等に触れ全身で感覚を楽しむ。 | 保育士と一緒に歌ったり手遊びをしたりリズムをする等、身体を動かして遊ぶ。 | 自分なりのイメージを膨らませて、保育士や友達と楽しんで遊ぶ。 | いろいろな素材や用具に親しみ、友達と歌ったりリズムをする。 | 粘土、水などを用いて、自由に表現することを友達と共に楽しむ。 | 自分のイメージしたことを粘土や言葉、絵などで表現する。 | | |
| 食を営む力の基礎 | 食べことに興味を持つ。自分で食べようとする気持ちを育てる。 | 食べ物に興味を持って自分で意欲的に食べようとする。自分で食べることを大事にする。 | 食事に興味を持ち、意欲的に食べる。 | 友達と楽しみながら食べる。 | 食事の大切さがわかり、楽しく食事を食べる。 | 健康な生活のリズムを身につけ、楽しんで食事を食べる。 | |
| 健康支援 | ・毎日の視診による健康状態と発達状態の把握 ・内科健診、歯科検診 ・家庭との連携 | | 小学校との連携 | ・小学校との交流 ・小学校参観日への参加 ・園行事への小学生の参加 ・保育所児童保育記録の送付 | | | |
| 環境・衛生管理 | ・施設内外の設備・用具等の消毒 ・安全管理、点検 ・玩具等の消毒、点検 ・布巾乾燥(年2回) | | 特色ある保育 | ・小学校との交流 ・水、砂、泥遊びや散歩などの戸外遊び ・採集、丹着 ・子ども園連携施設の園長を招いた交流 | | | |
| 安全対策・事故防止 | ・毎月の避難訓練(火災・地震) ・消防点検(年2回) ・通報・消火訓練の実施 ・交通安全教室 | | 自己評価 | ・自己評価表の作成 ・保育所評価(認定管理評価シート) | | | |
| 保護者・地域への支援 | ・育児相談支援 ・親睦体験、実習生、ボランティアの受け入れ ・子育てのための情報提供 | | 研修計画 | ・園外(札幌市、札幌道、その他)研修への参加 ・園内研修の実施 | | | |
| 地域への行事参加 | ・高齢者施設訪問 ・地域子育て事業との意見交換 | | | | | | |

<各年齢のまとめ>

0歳児 ペんぎん組

- 年間目標**
- ・清潔で安全な環境の中で過ごす。
 - ・保育士との安定した関係のもとで生理的、心理的欲求を満たし心地よく過ごす。
 - ・一人ひとりを丁寧に観察し、健やかに成長・発達できるよう必要な手立てを考えていく。

月齢に合わせた関わりに努めたことで、どの子もよく遊ぶことができた。

戸外遊びを大切にしてきた。季節の空気や風を感じ、自然物を見たり、見つけたり、触れたりしてきた。保育士間の話し合いをこまめに行うことができ、それが保育に活かされてきた。子どもたちの成長・発達に見合った手立てを十分にしていけることを課題とする。

1歳児 うさぎ組

- 年間目標**
- ・保育士との安定した関わりの中で伝える喜びを重ね自分の思いを表していく。

友達とのかかわりが増えてきたことで、かみつく、ひっかくなどがみられた。保育士が子どもの思いを推測し、言葉にしながらかわってきた。

子どもが甘えられるよう保育士は心がけてきたが、引き続き課題としていく。

2歳児 きりん組

- 年間目標**
- ・保育士と安定した関わりの中で身の回りのことを行い、自分でできる喜びを感じ何とも楽しく行う。
 - ・全身を使って遊ぶ。
 - ・自分の思いを表現し、相手の気持ちにも気づいていく。

着脱等を意欲的にやるが増えてきたが、時にはやってもらいたがることもあったので手助けをして来た。遊びや生活の中で様々なことをやることで全身を使う喜びを感じてきている。友達と遊ぶことで物の取り合いなどが多くなってきた。保育士が仲立ちをして、互いの気持ちを代弁して子どもに伝えてきた。保育士は、子どもが安心して自分を出せるような存在を目指していく。

3歳児 ひつじ組

- 年間目標**
- ・身の回りのことを積み重ねていきながら自分でしようとする気持ちを膨らませていく。
 - ・友達と楽しいことを共有し、時にはもめながら相手の気持ちに気づいていく。

子どもたちが、着脱など身の回りのことができやすい環境を考えてきた。家庭には子どもに身の回りのことをさせ、子どもが扱いやすいものを揃えるよう話してきた。子どもたちは、我を通す、ごねる、いたずらをする、けんかをするなど、様々な姿を見せてきた。その都度、必要に応じて、子どもの話を聞き、仲立ちをしてきた。自分の思いを出しながら友達と一緒に楽しい経験をしていく。

4歳児 あひる組

- 年間目標**
- ・友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・様々な物事に興味関心を持ち、やってみようとする。
 - ・友達と言葉で思いを伝えあい、相手の思いを知っていく。
 - ・基本的な生活習慣を身につける。

味噌汁づくりや節分の豆箱作りなど楽しいことをチームで行った。具材を何にするか、箱の形や色をどうするのかなどを話し合っただけで決めた。徐々に、意見を言う子が増え、友達の話聞くようになってきている。子ども同士でルールを決めて遊ぶ姿が見られる。衝動的に手が出やすい子や落ち着きのない子への関わりを家庭と連携して考えていく。

5歳児 かもしか組

- 年間目標**
- ・生活習慣を身につけ見通しをもって生活する。
 - ・仲間とともに様々なことに挑戦し、達成感を持つ。
 - ・全身を使って生活をしていく。

全体に着脱や準備、片付けなどの生活習慣が身につけづらかったため、家庭と連携し環境を整えてきたことで改善してきた子がみられた。特定の数人のケンカが頻繁にみられ、クラス全体が落ち着かなかった。活動によって保育士を増やして保育をしてきた。合宿は、自然のある山の家へ行った。日常は、車の騒音等があるが合宿中は、静かな中でのびのびと遊ぶことができ、良い経験となった。

夜間

- 年間目標**
- ・一人ひとりが安心して過ごす。

利用児数が少なく、降園時間もまちまちであった。夕食時間後、間もなく降園の時はあわただしさがあったが、遅めの降園の時はゆったりと過ごせることができた。

10. 年間行事報告

| 月日 | 行事 | 内容・感想 |
|----------|-----------------|--|
| 5月25日 | 園医健診（全クラス） | |
| 6月8日 | 父母の会総会 | 前年度の係からの引継ぎ・役員決め |
| 6月16日 | 円山登山（5歳児） | 昨年よりも力強く頂上まで歩いていた。先頭と後列の子が離れないように調整しながら登った。 |
| 6月23日 | 円山動物園（4歳児） | 登山予定だったが天候が不安定だったため行き先を変更した。山麓散策が少しできたことが良かった。 |
| 7月7日 | 交通安全教室（3・4・5歳児） | 少し難しい部分もあったが、交通ルールを学んだ。 |
| 7月28～29日 | 滝野合宿（5歳児） | 自然の中で、子どもたちがあそびを見つけて楽しんでいた。身の回りの事をやりきる事が今後の課題。 |
| 8月5日 | 七夕（3・4・5歳児） | 年長児が作った天の川をホールに飾る。その下で紙芝居をみて、おやつを食べた。 |
| 8月10日 | 夏まつり（全クラス） | 盆踊りとお店ごっこを楽しんだ。年長児がお店係をして小さい子たちと交流ができた。 |
| 9月17日 | 運動会（全クラス） | コロナ感染予防のため2部制で行った。子どもたちは、それぞれに力を発揮していた。 |
| 10月5日 | 味覚祭（全クラス） | 今まで、鮭の姿、丸ごと一匹を見たことがない子もいたが、どの子も捌く様を真剣に見ていた。 |
| 10月19日 | 円山登山（5歳児） | 子どもたちに、景色を見る余裕がみられた。春と違う風景は良い体験となった。 |
| 10月20日 | 円山登山（4歳児） | 斜面を怖がる子や余裕のない子もいたが、頂上まで登ることができた。頂上から視る景色に子どもたちは、喜んでいて。 |
| 10月26日 | 乗馬（5歳児） | 馬に触れる体験は子どもたちにとって良い刺激となり、帰園してから乗馬の話しをよくしていた。 |
| 11月14日 | こぶし座観劇（4・5歳児） | 感染予防をして観た。日本の伝統文化に触れられたことは良かった。観劇後、獅子舞になって遊ぶ姿が見られた。 |
| 11月16日 | 園医健診（全クラス） | |
| 11月24日 | 歯科健診（全クラス） | |
| 12月22日 | クリスマス会（3・4・5歳児） | 礼拝はキャンドルを持った年長児の入場で始まる。2部はクリスマスソングを歌った。 |
| 1月11日 | もちつき（3・4・5歳児） | 年長児が餅をついた。杵の重さに驚いていたが他のク |

| | | |
|---------------|--------------|---|
| | | ラスの子の声援を受けて頑張っている。 |
| 1月13日 | 獅子舞 (全クラス) | お正月の獅子舞を保育士が演じた。保育士が踊ったので、例年より泣く子が少なかった。 |
| 1月17日 ～18日 | 滝野合宿 (5歳児) | 山の中で、雪山を滑って存分に楽しむことが出来た。夏と同じ場所での合宿だったため、見通しを持って生活をしていた。 |
| 2月3日 | 節分 (全クラス) | 子どもが新聞紙をまるめたものを豆の代わりにして鬼にぶつけた。年長児は、自分で作った鬼の面で各クラスに登場した。 |
| 3月3日 | ひなまつり (全クラス) | ひなまつりの歌や紙芝居を見た。年長児はお茶会を楽しんだ。おやつは、焼き立てのホットケーキに苺をのせて食べた。 |
| | お茶会 (5歳児) | 抹茶と干菓子をいただいた。 |
| 3月18日 | 卒園式 (4・5歳児) | 卒園児の保護者と4歳児がお祝いをした。二部リズムでは、それぞれに力を発揮していた。 |
| 3月24日 | 進級・お別れ会 | 3年ぶりに、全園児が集い、行うことが出来た。子どもたちは進級の喜びとお別れの淋しさを感じていた。 |

1.1. 食育実践

| 日付 | クラス | 目的 | 感想 |
|--------------|-----|---------------------------------|---|
| R4年 8月22日 | 5歳児 | 収穫した大葉を食べる | 子どもたちが摘んできた大葉を「ピザ」にした。楽しみにしていた子供達が美味しい！と喜んで食べていた。 |
| メニュー | | レシピ | |
| 大葉のピザ | | 餃子の皮に刻んだ大葉をのせ、とろけるチーズと白ごまを添え焼く。 | |

| 日付 | クラス | 目的 | 感想 |
|--------------|-----|---------------------------------|---|
| R4年 10月5日 | 3歳児 | 秋の味覚を楽しむ。 | 普段、じゃがいもを好まない子が沢山いたが、焼きたてのいももちが美味しく食べていた。 |
| メニュー | | レシピ | |
| いももち | | じゃがいもを茹で、でん粉を入れ練ったあと焼く。甘ダレをかける。 | |

<総評>

- ・コロナ感染予防のためクッキングは保育士が行った。子どもたちは、見るだけだったが、料理をよるこんでいた。
- ・畑づくりやクッキングを通して、食べることへの興味をもち、みんなで一緒に食べることを楽しんでいた。

園庭で転び、鼻と下唇から出血が見られたため、歯科を受診する。歯には異状なし。

7月12日（5歳児）

虫の取り合いでケンカになり、頬にひっかき傷が出来た。皮膚科を受診し塗り薬が処方された。

7月29日（5歳児）

園外保育で左耳裏にマダニが付いたため、皮膚科で除去し、内服薬と塗り薬を処方された。

8月25日（5歳児）

虫の話して、言い争いが高じて、おでこに引っ掻き傷が出来たため皮膚科を受診し、塗り薬を処方された。

9月14日（5歳児）

他児に向かって走った際に、相手のおでこにぶつかり左まぶたが青く腫れた。眼科を受診する。視力に異状はなく、眼球にも傷は見られなかった。

10月3日（1歳児）

外遊びの後、「はな」と言って異状を知らせてきた。よく見ると小石が数個入っているのが見えたので取り除いた。奥にもあるかもしれないので耳鼻科を受診する。
カメラで確認したが小石はなく、内部に傷もなかった。

10月22日（1歳児）

積み木の取り合いで左目の下を引っかかれて傷になってしまったため、皮膚科を受診した。塗り薬が処方された。

10月28日（0歳児）

細い枝を耳に入れていたのですぐに取り除き、耳の中を確認する。何か異物が見えたため耳鼻科を受診した。木屑はなく傷もなかった。見えていたのは耳垢だった。

11月2日（0歳）

園庭で歩いていて時に転んだ際に、ウッドデッキにおでこの左側をぶつけてしまい、擦り傷になったため皮膚科を受診し、塗り薬が処方された。

11月4日（3歳児）

横入りをしてきた子と揉めた際に眉あたりを引っ掻かれ傷となる。皮膚科を受診し、塗り薬を処方された。

11月10日（1歳児）

砂場で遊んでいたところに走ってきた子が投げた砂が両目に入る。流水で目を洗った後、眼科を受診し目の洗浄をしてもらう。眼球には異状なし。点眼薬を処方される。

11月21日（5歳児）

ごぞ内側のスポンジをいじっているうちに、飲み込んだようでノドの違和感を訴えてきたので受診する。医師の見立ては、来院までの間に飲み込んだと思われるとのことで異常なし。

11月30日（1歳児）

床に座わろうとした際に、顔から転び口元をぶつけ、上唇と上前歯歯茎に傷が出来た。レントゲンで確認したところ歯に異状なし。傷の消毒をしてもらう。

12月1日（0歳児）

衣類箱（段ボール箱）の縁に口があたり、唇と歯ぐきから少量の出血があったため、歯科を受診する。歯のぐらつきはなかった。傷の消毒をもらった。

12月2日（4歳児）

他児と向かい合って両手をつないで遊んでいた時に転び、顔面を強打する。口の中と鼻から出血が見られ、歯のぐらつきがあった。歯科を受診し、レントゲンで歯の確認し、ぐらつきは永久歯への生え変わりのためのぐらつきだった。口内を消毒してもらった。

12月16日（0歳児）

保育室で遊んでいる時に、テーブルの角に口をぶつけ唇と上唇小帯が切れ出血が見られたため歯科を受診する。歯に異状は見られなかった。

1月5日（3歳児）

絵本を見ていた時に、他児に引っ掻かれ左頬に傷になってしまう。皮膚科を受診し塗り薬が処方された。

1月27日（1歳児）

保育室で積み木の取り合いになった時に、他児の爪が左頬に当たり、2本の傷になったため、皮膚科を受診する。塗り薬が処方された。

3月13日（5歳児）

雑巾がけをしていた際に、顔から転び床に口をぶつける。前歯あたりからの出血と上唇の腫れが見られたため、歯科を受診した。歯には異状なし。塗り薬が処方された。

3月14日（3歳児）

自分のおしぼり入れのポーチのファスナーが下歯の間に入ってしまう。歯科を受診し、器具を使ってとり、消毒をもらった。

3月20日（3歳児）

園庭から室内に入る際に、転んでドアに顔をぶつける。右目まぶたの皮がむけていたので受診する。

3月24日（3歳児）

布団の取り合いで口のあたりを蹴られた。上唇から出血していたので、止血をし歯科を受診する。

14. 防災計画実績

<自衛消防隊>

| | | |
|------------|--------------------|----------------------------------|
| 防火責任者 | 園長 | |
| 通報・連絡 | 事務員 | 防火責任者(園長)に連絡し、119番通報 |
| 初期消火 | 調理員・用務員 | 消火器を用いて初期消火の任にあたる |
| 避難・誘導 | 全保育士 | |
| 探索・救護 | 園長 主任保育士・フリー保育士 | 残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置(必要時) |
| 保護者への引渡し確認 | 各組担任保育士 | 必ず避難場所で確認後、保護者へ引き渡す |
| 非常書類持出 | 園長 事務員 | 書類関係 登園表、緊急連絡網 |

<避難訓練>

| 日付 | 訓練内容および反省 |
|---|--|
| 4月25日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | ベルの音を聞き、保育士の誘導で避難する →午睡から目ざめ着替えが終わり、おやつ準備中の訓練となる。各クラスに、子どもたちがいたことで、速やかに避難することができた。新入児は、特に怖がることもなく、保育士と避難ができた。 |
| 5月26日 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導 | 全館放送の指示に従い避難する →アナウンスと共に避難を開始する。午睡明け直後で、保育室に子どもがいたため、特に混乱なく避難できていた。 |
| 6月22日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の指示に従い落ち着いて避難する →きりん組がホールと保育室に分かれて遊んでいたが、互いに人数を把握していたことで、園児数の確認ができた。幼児クラスの一部に、階段途中で止まる子が数名みられたため、止まらずに速やかに進むことを指示した。 |
| 7月27日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の誘導に従いすみやかに避難する →ひとクラスが大きいプールであそび、他のクラスは、泥んこあそびなどをしていた。プールにいた子には、保育士の指示で順次避難した。安全を意識して、子どもを誘導したことで、大きな混乱なく避難できた。 |
| 8月26日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の指示通りに機敏に避難する →午睡終了直後の訓練。目ざめない子どもを起こし避難した。 中々、目ざめない子は、抱いて避難した。ひとところにいた時間だったため、特に混乱はなかった。 |
| 9月27日 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導 | 全館放送の指示に従い避難する →公園する園児や退勤する職員があり、人数確認がより必要だった。2歳児クラスは、担任の欠勤・退勤のため、フリー保育士等が保育中だったが、園児確保がしっかりできていた。 |

| | |
|---|--|
| 10月26日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 夜間保育士の指示に従い避難する →年間計画では、夜間帯での訓練だったが、都合により昼間の避難訓練となる。かもしか組は、乗馬体験のため、園外にいた。引率の保育士に「火災発生→消火」を連絡した。園児は、皆、園庭で遊んでいたが、職員の誘導で、避難することができた。 |
| 11月29日 (地震・給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の指示に従い、安全な場所に避難する →自身発生のアナウンスで「安全な場所にとどまる」ことを知らせたが、火災時と同じように避難口を異動させていた保育士がいた。地震の時の避難法を確認していく。揺れが収まったが火災が発生したので、避難口に向かうアナウンスをすると、幼児クラスは、防寒を考えて、ジャンパーを着たり、衣類袋をもって避難をした。寒い季節の避難について、検討していく。 |
| 12月28日 (小学校より出火) 避難・消火・誘導 | 放送をよく聞き落ち着いて行動する →明日から、お正月休みになるためか浮ついた気持ちの子どもたちであったが、アナウンスを聞いて、保育士と共に避難した。幼児クラスの数人がおおさわぎする場面があった。訓練後『先生の話をよく聞いて、静かに避難する』ことを幼児クラス全体に話した。 |
| 1月20日 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の誘導に従いすみやかに避難する →防寒着を身に着けて、避難口まで向かう。特に混乱は、みられなかった。2歳児クラスの子供たちは、保育士の指示により、意外に手早く防寒着を見つけていた。 |
| 2月28日 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導 | 全館放送を聞き、保育士の誘導で避難する →午睡あけ直後“火元が小学校”という想定で避難訓練を行う。「できるだけ、防寒着を身に着けて避難する」のアナウンスに1Fホールで午睡していた幼児クラスの子たちが防寒着を取りに2Fに上がる。2F保育室は、小学校に隣接しているため、戻ったことは不適切だった。毛布を防寒として持って避難することも考えられた。「避難を第一」に考え、判断を適切に行うようにしていく。 |
| 3月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導 | 保育士の指示に従い、積極的に行動する →5歳児と4歳児の5名は、室内で活動し、他のクラスは、園庭であそんでいた。どのクラスも素早く非難できた。4歳児クラス担当保育士は、内・外の人数を把握し、それぞれに人数の報告ができていた。 |

※計画では、4施設合同避難としていたが、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となった。

15. 要望・苦情に対する対応

今年度は、ありませんでした。

16. 保護者に関する実績

<父母の会・懇談会・親子観劇>

父母の会 定期総会(4月15日)

役員会・・・年6回開催。

懇談会 クラス懇談会は、各クラスでおおむね計画通り行うことができた。

個人懇談を行う機会を設け、希望者と懇談を行った。

親子観劇会 コロナウイルス感染予防のため、実施できなかった。

<保護者アンケート>

回収率 56.8%

(1)施設の利用には、満足していますか？

- ① とても良い 52.0% ② 良い 36.0% ③ 普通 12.0%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(2)施設や設備は、良好に管理されていると思いますか？

- ① とても良い 56.0% ② 良い 28.0% ③ 普通 14.0%
④ あまり良くない 2.0% ⑤ 良くない 0.0%

(3)保育園の行事について、どう思いますか？

- ① とても良い 50.0% ② 良い 30.0% ③ 普通 14.0%
④ あまり良くない 6.0% ⑤ 良くない 0.0%

(4)保育園の食事(おやつ)について、どう思いますか？

- ① とても良い 52.0% ② 良い 42.0% ③ 普通 4.0%
④ あまり良くない 2.0% ⑤ 良くない 0.0%

(5)職員(保育士)などの対応は良好ですか？

- ① とても良い 54.0% ② 良い 40.0% ③ 普通 6.0%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

(6)保育サービス全体の評価はいかがですか？

- ① とても良い 52.0% ② 良い 38.0% ③ 普通 10.0%
④ あまり良くない 0.0% ⑤ 良くない 0.0%

17. 施設間と地域との交流実績

新型コロナウイルス感染予防のため、中止。

資金収支計算書

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | |
|---------------------------------|---------------|-------------------------|---------------|---------------|-------------|
| 事業活動による収支 | 収入 | 介護保険事業収入 | 1,338,775,000 | 1,362,052,864 | △23,277,864 |
| | | 老人福祉事業収入 | 57,658,000 | 58,514,936 | △856,936 |
| | | 児童福祉事業収入 | 1,485,736,000 | 1,522,992,535 | △37,256,535 |
| | | 保育事業収入 | 666,777,000 | 684,750,356 | △17,973,356 |
| | | 生活保護事業収入 | 289,433,000 | 292,813,416 | △3,380,416 |
| | | 婦人保護事業収入 | 312,451,000 | 319,615,624 | △7,164,624 |
| | | 借入金利息補助金収入 | 815,000 | 1,172,781 | △357,781 |
| | | 経常経費寄附金収入 | 39,651,000 | 42,230,347 | △2,579,347 |
| | | 受取利息配当金収入 | 567,000 | 544,783 | 22,217 |
| | | その他の収入 | 58,524,000 | 58,156,761 | 367,239 |
| | | 事業活動収入計(1) | 4,250,387,000 | 4,342,844,403 | △92,457,403 |
| | 支出 | 人件費支出 | 2,965,510,000 | 2,959,066,589 | 6,443,411 |
| | | 事業費支出 | 682,570,000 | 660,758,752 | 21,811,248 |
| | | 事務費支出 | 498,526,000 | 492,616,764 | 5,909,236 |
| | | 支払利息支出 | 2,881,000 | 2,789,907 | 91,093 |
| | | その他の支出 | 30,230,000 | 31,484,693 | △1,254,693 |
| | | 流動資産評価損等による資金減少額 | 1,000 | 2,504 | △1,504 |
| 事業活動支出計(2) | 4,179,718,000 | 4,146,719,209 | 32,998,791 | | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | | 70,669,000 | 196,125,194 | △125,456,194 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等補助金収入 | 21,716,000 | 25,457,185 | △3,741,185 |
| | | 固定資産売却収入 | 62,000 | 61,730 | 270 |
| | | 施設整備等収入計(4) | 21,778,000 | 25,518,915 | △3,740,915 |
| | 支出 | 設備資金借入金元金償還支出 | 31,764,000 | 32,130,000 | △366,000 |
| | | 固定資産取得支出 | 92,411,000 | 89,635,919 | 2,775,081 |
| | | ファイナンス・リース債務の返済支出 | 6,856,000 | 6,859,645 | △3,645 |
| | | 施設整備等支出計(5) | 131,031,000 | 128,625,564 | 2,405,436 |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | | △109,253,000 | △103,106,649 | △6,146,351 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | 長期貸付金回収収入 | 30,000 | 30,000 | 0 |
| | | 積立資産取崩収入 | 57,900,000 | 36,139,400 | 21,760,600 |
| | | その他の活動による収入 | 10,374,000 | 12,613,677 | △2,239,677 |
| | | その他の活動による収入計(7) | 68,304,000 | 48,783,077 | 19,520,923 |
| | 支出 | 積立資産支出 | 117,000,000 | 130,000,000 | △13,000,000 |
| | | その他の活動による支出 | 21,824,000 | 25,770,677 | △3,946,677 |
| | | その他の活動支出計(8) | 138,824,000 | 155,770,677 | △16,946,677 |
| | | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | △70,520,000 | △106,987,600 | 36,467,600 |
| 予備費支出(10) | | 5,658,000 | | | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | △114,762,000 | △13,969,055 | △100,792,945 | |
| 前期末支払資金残高(12) | | 1,147,456,233 | 1,149,951,648 | △2,495,415 | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | | 1,032,694,233 | 1,135,982,593 | △103,288,360 | |

事業活動計算書

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) | |
|-----------------------|------------------------------------|------------------------|---------------|---------------|-------------|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 介護保険事業収益 | 1,362,052,864 | 1,379,439,060 | △17,386,196 |
| | | 老人福祉事業収益 | 58,514,936 | 54,656,137 | 3,858,799 |
| | | 児童福祉事業収益 | 1,522,992,535 | 1,448,003,924 | 74,988,611 |
| | | 保育事業収益 | 684,750,356 | 684,473,896 | 276,460 |
| | | 生活保護事業収益 | 292,813,416 | 289,200,785 | 3,612,631 |
| | | 婦人保護事業収益 | 319,615,624 | 297,211,323 | 22,404,301 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 43,480,247 | 28,348,450 | 15,131,797 |
| | | その他の収益 | 441,864 | 1,507,898 | △1,066,034 |
| | | サービス活動収益計(1) | 4,284,661,842 | 4,182,841,473 | 101,820,369 |
| | 費用 | 人件費 | 2,973,082,789 | 2,905,014,565 | 68,068,224 |
| 事業費 | | 661,962,389 | 654,443,328 | 7,519,061 | |
| 事務費 | | 492,706,962 | 462,152,447 | 30,554,515 | |
| 減価償却費 | | 212,243,470 | 214,838,469 | △2,594,999 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | | △120,341,089 | △121,272,938 | 931,849 | |
| 徴収不能額 | | 2,504 | 0 | 2,504 | |
| サービス活動費用計(2) | | 4,219,657,025 | 4,115,175,871 | 104,481,154 | |
| サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | | 65,004,817 | 67,665,602 | △2,660,785 | |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | 借入金利息補助金収益 | 1,172,781 | 1,849,979 | △677,198 |
| | | 受取利息配当金収益 | 544,783 | 520,425 | 24,358 |
| | | 投資有価証券評価益 | 2,505,690 | 1,136,600 | 1,369,090 |
| | | その他のサービス活動外収益 | 57,735,937 | 76,779,107 | △19,043,170 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 61,959,191 | 80,286,111 | △18,326,920 |
| | 費用 | 支払利息 | 2,789,907 | 3,157,732 | △367,825 |
| | | 投資有価証券評価損 | 755,000 | 792,235 | △37,235 |
| | | その他のサービス活動外費用 | 31,484,693 | 32,597,005 | △1,112,312 |
| | | サービス活動外費用計(5) | 35,029,600 | 36,546,972 | △1,517,372 |
| | | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 26,929,591 | 43,739,139 | △16,809,548 |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | 91,934,408 | 111,404,741 | △19,470,333 | | |
| 特別増減の部 | 収益 | 施設整備等補助金収益 | 25,457,185 | 43,453,441 | △17,996,256 |
| | | 固定資産受贈額 | 0 | 400,000 | △400,000 |
| | | 固定資産売却益 | 61,729 | 0 | 61,729 |
| | | その他の特別収益 | 3,069,041 | 537,155 | 2,531,886 |
| | | 特別収益計(8) | 28,587,955 | 44,390,596 | △15,802,641 |
| | 費用 | 固定資産売却損・処分損 | 25 | 58,439 | △58,414 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 26,396,585 | 37,399,051 | △11,002,466 |
| | | その他の特別損失 | 634,082 | 18,000 | 616,082 |
| | | 特別費用計(9) | 27,030,692 | 37,475,490 | △10,444,798 |
| | | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | 1,557,263 | 6,915,106 | △5,357,843 |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | 93,491,671 | 118,319,847 | △24,828,176 | | |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | 1,753,674,436 | 1,795,859,779 | △42,185,343 | |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | 1,847,166,107 | 1,914,179,626 | △67,013,519 | |
| | 基本金取崩額(14) | 0 | 0 | 0 | |
| | その他の積立金取崩額(15) | 36,139,400 | 18,494,810 | 17,644,590 | |
| | その他の積立金積立額(16) | 130,000,000 | 179,000,000 | △49,000,000 | |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | 1,753,305,507 | 1,753,674,436 | △368,929 | |

貸借対照表
令和 5年 3月31日現在

（単位：円）

| | 資 産 の 部 | | | 負 債 の 部 | | | |
|----------------------|----------------|----------------|--------------|---------------------|----------------|----------------|-------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 | | 当年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 流動資産 | 1,341,643,950 | 1,376,149,987 | △34,506,037 | 流動負債 | 395,941,661 | 422,271,765 | △26,330,104 |
| 現金預金 | 905,377,648 | 1,018,330,381 | △112,952,733 | 事業未払金 | 155,441,060 | 173,226,278 | △17,785,218 |
| 事業未収金 | 385,767,284 | 303,147,761 | 82,619,523 | その他の未払金 | 595,620 | 514,140 | 81,480 |
| 未収金 | 1,650,040 | 3,043,290 | △1,393,250 | 1年以内返済予定 設備資金借入金 | 25,764,000 | 32,130,000 | △6,366,000 |
| 未収補助金 | 30,667,851 | 33,813,801 | △3,145,950 | 1年以内返済予定 リース債務 | 10,993,431 | 4,437,717 | 6,555,714 |
| 貯蔵品 | 870,419 | 850,442 | 19,977 | 未払費用 | 26,154,585 | 21,359,178 | 4,795,407 |
| 立替金 | 1,064,326 | 235,553 | 828,773 | 預り金 | 2,040,210 | 9,869,731 | △7,829,521 |
| 前払金 | 5,949,893 | 5,401,464 | 548,429 | 職員預り金 | 17,671,071 | 17,610,482 | 60,589 |
| 前払費用 | 8,337,309 | 8,761,472 | △424,163 | 前受金 | 2,947,380 | 2,939,290 | 8,090 |
| 1年以内回収予定 長期貸付金 | 360,000 | 360,000 | 0 | 仮受金 | 433,941 | 301,750 | 132,191 |
| 仮払金 | 1,599,180 | 2,205,823 | △606,643 | 賞与引当金 | 153,900,363 | 159,883,199 | △5,982,836 |
| 固定資産 | 10,132,561,671 | 10,120,455,577 | 12,106,094 | 固定負債 | 518,330,505 | 513,948,595 | 4,381,910 |
| 基本財産 | 7,356,925,514 | 7,446,725,259 | △89,799,745 | 設備資金借入金 | 199,796,000 | 225,560,000 | △25,764,000 |
| 土地 | 4,458,521,930 | 4,406,779,150 | 51,742,780 | リース債務 | 24,094,487 | 12,449,998 | 11,644,489 |
| 建物 | 6,376,486,010 | 6,368,534,110 | 7,951,900 | 退職給付引当金 | 294,440,018 | 275,938,597 | 18,501,421 |
| 建物減価償却累計額 △ | 3,478,082,426 | 3,328,588,001 | 149,494,425 | 負債の部合計 | 914,272,166 | 936,220,360 | △21,948,194 |
| その他の固定資産 | 2,775,636,157 | 2,673,730,318 | 101,905,839 | 純 資 産 の 部 | | | |
| 建物 | 276,064,543 | 271,090,953 | 4,973,590 | 基本金 | 4,676,186,977 | 4,676,186,977 | 0 |
| 建物減価償却累計額 △ | 180,772,486 | 168,939,885 | 11,832,601 | 第1号基本金 | 4,360,965,867 | 4,360,965,867 | 0 |
| 構築物 | 227,877,145 | 227,536,365 | 340,780 | 第2号基本金 | 140,490,000 | 140,490,000 | 0 |
| 構築物減価償却累計額 △ | 176,965,034 | 168,085,136 | 8,879,898 | 第3号基本金 | 174,731,110 | 174,731,110 | 0 |
| 機械及び装置 | 8,158,080 | 8,158,080 | 0 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,937,614,475 | 2,031,558,979 | △93,944,504 |
| 機械及び装置 減価償却累計額 △ | 6,857,449 | 6,518,925 | 338,524 | 国庫補助金等特別積立金 | 1,937,614,475 | 2,031,558,979 | △93,944,504 |
| 車輛運搬具 | 73,949,197 | 70,502,872 | 3,446,325 | その他の積立金 | 2,192,826,496 | 2,098,964,812 | 93,861,684 |
| 車輛運搬具 減価償却累計額 △ | 62,070,514 | 58,459,196 | 3,611,318 | 措置施設人件費積立金 | 363,335,877 | 383,235,877 | △19,900,000 |
| 器具及び備品 | 588,348,241 | 581,192,587 | 7,155,654 | 措置施設施設 整備等積立金 | 1,520,947,920 | 1,402,447,920 | 118,500,000 |
| 器具及び備品 減価償却累計額 △ | 509,535,592 | 491,714,704 | 17,820,888 | 保育所人件積立金 | 79,500,000 | 78,500,000 | 1,000,000 |
| 建設仮勘定 | 1,378,600 | 0 | 1,378,600 | 保育所修繕積立金 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| 有形リース資産 | 56,730,326 | 31,670,478 | 25,059,848 | 保育所施設・ 設備整備積立金 | 77,500,000 | 80,300,000 | △2,800,000 |
| 有形リース資産 減価償却累計額 △ | 28,156,746 | 22,394,050 | 5,762,696 | その他の積立金 | 141,542,699 | 144,481,015 | △2,938,316 |
| 権利 | 791,864 | 791,864 | 0 | 次期繰越活動増減差額 | 1,753,305,507 | 1,753,674,436 | △368,929 |
| ソフトウェア | 649,369 | 918,925 | △269,556 | 次期繰越活動増減差額 | 1,753,305,507 | 1,753,674,436 | △368,929 |
| 無形リース資産 | 5,820,100 | 7,407,400 | △1,587,300 | （うち当期活動増減差額） | 93,491,671 | 118,319,847 | △24,828,176 |
| 投資有価証券 | 18,274,560 | 16,523,870 | 1,750,690 | | | | |
| 長期貸付金 | 1,184,668 | 1,214,668 | △30,000 | | | | |
| 措置施設繰越特定資産 | 1,884,283,797 | 1,785,683,797 | 98,600,000 | | | | |
| 移行時減価償却 特別積立資産 | 52,925,213 | 52,925,213 | 0 | | | | |
| 保育所繰越積立資産 | 89,500,000 | 88,500,000 | 1,000,000 | | | | |
| 保育所施設・ 設備整備積立資産 | 77,500,000 | 80,300,000 | △2,800,000 | | | | |
| その他の積立資産 | 141,542,699 | 144,481,015 | △2,938,316 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 212,541,655 | 199,554,597 | 12,987,058 | | | | |
| 差入保証金 | 20,525,440 | 20,525,440 | 0 | | | | |
| 長期前払費用 | 1,290,211 | 352,830 | 937,381 | | | | |
| その他の固定資産 | 658,270 | 511,260 | 147,010 | 純資産の部合計 | 10,559,933,455 | 10,560,385,204 | △451,749 |
| 資産の部合計 | 11,474,205,621 | 11,496,605,564 | △22,399,943 | 負債及び純資産の部合計 | 11,474,205,621 | 11,496,605,564 | △22,399,943 |

札幌市しせいかん保育園

令和 4 年度決算報告書

法人名
法人代表者
施設名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 石川 一由紀
札幌市しせいかん保育園
施設長 吉村 政美

第一号第四様式 (第十七条第四項関係)

拠点区分資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

| 勘定科目 | | 予算(A) | 決算(B) | 差異(A)-(B) | 備考 | |
|---------------------------------|-------------------------|-------------|-------------|-------------|---------------------------|--|
| 事業活動による収入 | 保育事業収入 | 137,208,000 | 141,449,497 | △4,241,497 | 委託費・各種補助金・燃料・給食費高騰などの増による | |
| | 委託費収入 | 115,771,000 | 117,652,520 | △1,881,520 | 公定価格の引き上げ・処遇加算に伴い増 | |
| | 利用者等利用料収入 | 131,000 | 125,700 | 5,300 | | |
| | その他の事業収入 | 21,306,000 | 23,671,277 | △2,365,277 | | |
| | 経常経費寄附金収入 | 142,000 | 142,320 | △320 | | |
| | 経常経費寄附金収入 | 142,000 | 142,320 | △320 | | |
| | 受取利息配当金収入 | 0 | 377 | △377 | | |
| | 受取利息配当金収入 | 0 | 377 | △377 | | |
| | その他の収入 | 1,071,000 | 1,097,480 | △26,480 | | |
| | 受入研修費収入 | 30,000 | 64,000 | △34,000 | | |
| | 利用者等外給食収入 | 1,041,000 | 1,033,480 | 7,520 | | |
| | 事業活動収入計(1) | 138,421,000 | 142,689,674 | △4,268,674 | | |
| | 事業活動による支出 | 人件費支出 | 112,463,000 | 112,164,655 | 298,345 | |
| | | 職員給料支出 | 52,803,000 | 52,763,874 | 39,126 | |
| | | 職員賞与支出 | 20,238,000 | 20,455,110 | △217,110 | |
| | | 非常勤職員給与支出 | 23,611,000 | 23,171,620 | 439,380 | |
| | | 退職給付支出 | 1,577,000 | 1,576,600 | 400 | |
| | | 法定福利費支出 | 14,234,000 | 14,197,451 | 36,549 | |
| | | 事業費支出 | 16,140,000 | 16,177,008 | △37,008 | |
| | | 給食費支出 | 7,000,000 | 7,017,012 | △17,012 | |
| | | 保健衛生費支出 | 738,000 | 641,193 | 96,807 | |
| | | 保育材料費支出 | 1,302,000 | 1,243,712 | 58,288 | |
| | | 水道光熱費支出 | 4,819,000 | 4,778,946 | 40,054 | |
| | | 消耗器具備品費支出 | 1,039,000 | 1,275,036 | △236,036 | |
| | | 保険料支出 | 248,000 | 244,270 | 3,730 | |
| | | 賃借料支出 | 964,000 | 961,229 | 2,771 | |
| | | 雑支出 | 30,000 | 15,610 | 14,390 | |
| 事務費支出 | | 6,584,000 | 6,262,095 | 321,905 | | |
| 福利厚生費支出 | | 494,000 | 509,820 | △15,820 | | |
| 旅費交通費支出 | | 40,000 | 45,320 | △5,320 | | |
| 研修研究費支出 | | 33,000 | 31,568 | 1,432 | | |
| 事務消耗品費支出 | | 160,000 | 159,816 | 184 | | |
| 印刷製本費支出 | | 385,000 | 316,836 | 68,164 | | |
| 修繕費支出 | | 830,000 | 723,730 | 106,270 | | |
| 通信運搬費支出 | | 493,000 | 505,064 | △12,064 | | |
| 会議費支出 | | 20,000 | 10,000 | 10,000 | | |
| 業務委託費支出 | | 2,692,000 | 2,605,970 | 86,030 | | |
| 手数料支出 | | 794,000 | 739,867 | 54,133 | | |
| 土地・建物賃借料支出 | | 168,000 | 167,824 | 176 | | |
| 租税公課支出 | | 200,000 | 186,132 | 13,868 | | |
| 保守料支出 | | 75,000 | 61,600 | 13,400 | | |
| 雑支出 | | 200,000 | 198,548 | 1,452 | | |
| その他の支出 | | 1,041,000 | 1,033,480 | 7,520 | | |
| 利用者等外給食費支出 | | 1,041,000 | 1,033,480 | 7,520 | | |
| 流動資産評価損等による資金減少額 | | 0 | 1,760 | △1,760 | | |
| 徴収不能額 | | 0 | 1,760 | △1,760 | | |
| 事業活動支出計(2) | 136,228,000 | 135,638,998 | 589,002 | | | |
| 事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) | 2,193,000 | 7,050,676 | △4,857,676 | | | |
| 施設整備等による収入 | 施設整備等収入計(4) | 0 | 0 | 0 | | |
| | 施設整備等支出計(5) | 0 | 0 | 0 | | |
| 施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) | 0 | 0 | 0 | | | |
| その他の活動による収入 | その他の活動による収入 | 766,000 | 765,424 | 576 | | |
| | 退職給付引当資産取崩収入 | 598,000 | 597,600 | 400 | | |
| | 過年度修正額収入 | 168,000 | 167,824 | 176 | | |
| | その他の活動による収入計(7) | 766,000 | 765,424 | 576 | | |
| | 拠点区分間繰入金支出 | 43,000 | 43,000 | 0 | | |
| | 拠点区分間繰入金支出 | 43,000 | 43,000 | 0 | | |
| | その他の活動による支出 | 2,252,000 | 2,247,870 | 4,130 | | |
| | 退職給付引当資産支出 | 2,252,000 | 2,247,520 | 4,480 | | |
| その他の活動による支出 | 過年度修正額支出 | 0 | 350 | △350 | | |
| | その他の活動支出計(8) | 2,295,000 | 2,290,870 | 4,130 | | |
| | その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8) | △1,529,000 | △1,525,446 | △3,554 | | |
| 予備費支出(10) | 0 | 0 | 0 | | | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | 664,000 | 5,525,230 | △4,861,230 | | | |
| 前期末支払資金残高(12) | 24,573,000 | 24,573,388 | △388 | | | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | 25,237,000 | 30,098,618 | △4,861,618 | | | |

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月 31日

(単位：円)

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) |
|--|-----------------------|-------------|-------------|------------|
| 収 益 | 保育事業収益 | 141,449,497 | 145,295,971 | △3,846,474 |
| | 委託費収益 | 117,652,520 | 124,736,350 | △7,083,830 |
| | 利用者等利用料収益 | 125,700 | 0 | 125,700 |
| | その他の事業収益 | 23,671,277 | 20,559,621 | 3,111,656 |
| | 経常経費寄附金収益 | 142,320 | 159,816 | △17,496 |
| | 経常経費寄附金収益 | 142,320 | 159,816 | △17,496 |
| | その他の収益 | 0 | 164,570 | △164,570 |
| | その他の収益 | 0 | 164,570 | △164,570 |
| | サービス活動収益計(1) | 141,591,817 | 145,620,357 | △4,028,540 |
| サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 | 人件費 | 111,639,575 | 116,674,520 | △5,034,945 |
| | 職員給料 | 52,763,874 | 55,380,624 | △2,616,750 |
| | 職員賞与 | 14,400,110 | 17,396,050 | △2,995,940 |
| | 賞与引当金繰入 | 3,880,000 | 6,055,000 | △2,175,000 |
| | 非常勤職員給与 | 23,171,620 | 19,866,639 | 3,304,981 |
| | 退職給付費用 | 3,226,520 | 3,518,665 | △292,145 |
| | 法定福利費 | 14,197,451 | 14,457,542 | △260,091 |
| | 事業費 | 16,177,008 | 17,540,850 | △1,363,842 |
| | 給食費 | 7,017,012 | 6,733,175 | 283,837 |
| | 保健衛生費 | 641,193 | 774,606 | △133,413 |
| | 保育材料費 | 1,243,712 | 965,595 | 278,117 |
| | 水道光熱費 | 4,778,946 | 3,574,587 | 1,204,359 |
| | 燃料費 | 0 | 2,862,000 | △2,862,000 |
| | 消耗器具備品費 | 1,275,036 | 1,476,539 | △201,503 |
| | 保険料 | 244,270 | 229,560 | 14,710 |
| | 賃借料 | 961,229 | 908,698 | 52,531 |
| | 雑費 | 15,610 | 16,090 | △480 |
| | 事務費 | 6,262,095 | 5,827,948 | 434,147 |
| | 福利厚生費 | 509,820 | 559,623 | △49,803 |
| | 職員被服費 | 0 | 340,000 | △340,000 |
| | 旅費交通費 | 45,320 | 51,170 | △5,850 |
| | 研修研究費 | 31,568 | 46,098 | △14,530 |
| | 事務消耗品費 | 159,816 | 228,234 | △68,418 |
| | 印刷製本費 | 316,836 | 463,499 | △146,663 |
| | 修繕費 | 723,730 | 763,457 | △39,727 |
| | 通信運搬費 | 505,064 | 499,108 | 5,956 |
| | 会議費 | 10,000 | 10,660 | △660 |
| | 業務委託費 | 2,605,970 | 1,560,470 | 1,045,500 |
| | 手数料 | 739,867 | 717,494 | 22,373 |
| | 土地・建物賃借料 | 167,824 | 167,824 | 0 |
| | 租税公課 | 186,132 | 191,060 | △4,928 |
| | 保守料 | 61,600 | 65,251 | △3,651 |
| | 雑費 | 198,548 | 164,000 | 34,548 |
| 減価償却費 | 652,902 | 798,892 | △145,990 | |
| 減価償却費 | 652,902 | 798,892 | △145,990 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △29,452 | △12,271 | △17,181 | |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △29,452 | △12,271 | △17,181 | |
| 徴収不能額 | 1,760 | 0 | 1,760 | |
| 徴収不能額 | 1,760 | 0 | 1,760 | |
| | サービス活動費用計(2) | 134,703,888 | 140,829,939 | △6,126,051 |
| | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | 6,887,929 | 4,790,418 | 2,097,511 |

第二号第四様式 (第二十三条第四項関係)

拠点区分事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

| 勘定科目 | | 当年度決算(A) | 前年度決算(B) | 増減(A)-(B) | |
|-----------------------|------------------------------------|------------------------|------------|------------|------------|
| サービス活動外増減の部 | 収 | 受取利息配当金収益 | 377 | 377 | 0 |
| | | 受取利息配当金収益 | 377 | 377 | 0 |
| | 益 | その他のサービス活動外収益 | 1,097,480 | 1,159,440 | △61,960 |
| | | 受入研修費収益 | 64,000 | 30,000 | 34,000 |
| | | 利用者等外給食収益 | 1,033,480 | 1,129,440 | △95,960 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 1,097,857 | 1,159,817 | △61,960 |
| | 費用 | その他のサービス活動外費用 | 1,033,480 | 1,129,440 | △95,960 |
| | | 利用者等外給食費 | 1,033,480 | 1,129,440 | △95,960 |
| | | サービス活動外費用計(5) | 1,033,480 | 1,129,440 | △95,960 |
| | | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | 64,377 | 30,377 | 34,000 |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | | 6,952,306 | 4,820,795 | 2,131,511 | |
| 特別増減の部 | 収 | 施設整備等補助金収益 | 0 | 117,811 | △117,811 |
| | | 施設整備等補助金収益 | 0 | 117,811 | △117,811 |
| | 益 | その他の特別収益 | 167,824 | 0 | 167,824 |
| | | 過年度修正額(収益) | 167,824 | 0 | 167,824 |
| | | 特別収益計(8) | 167,824 | 117,811 | 50,013 |
| | 費用 | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 0 | 117,811 | △117,811 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 0 | 117,811 | △117,811 |
| | | 拠点区分間繰入金費用 | 43,000 | 209,000 | △166,000 |
| | | 拠点区分間繰入金費用 | 43,000 | 209,000 | △166,000 |
| | | その他の特別損失 | 350 | 18,000 | △17,650 |
| | 過年度修正額(損失) | 350 | 18,000 | △17,650 | |
| | 特別費用計(9) | 43,350 | 344,811 | △301,461 | |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | 124,474 | △227,000 | 351,474 | |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | | 7,076,780 | 4,593,795 | 2,482,985 | |
| 繰越活動増減差額の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 21,815,556 | 20,221,761 | 1,593,795 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | | 28,892,336 | 24,815,556 | 4,076,780 |
| | 基本金取崩額(14) | | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金取崩額(15) | | 0 | 0 | 0 |
| | その他の積立金積立額(16) | | 0 | 3,000,000 | △3,000,000 |
| | 保育所施設・設備整備積立金積立額 | | 0 | 3,000,000 | △3,000,000 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | | 28,892,336 | 21,815,556 | 7,076,780 |

第三号第四様式 (第二十七条第四項関係)

拠点区分貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位: 円)

| | 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | | 増 減 |
|-----------------|------------|------------|------------|---------------|------------|
| | 当年度末 | 前年度末 | 当年度末 | 前年度末 | |
| 流動資産 | 33,488,004 | 31,498,822 | 1,989,182 | 1,989,182 | △5,711,048 |
| 現金預金 | 24,757,591 | 25,953,668 | △1,196,077 | 1,002,885 | △776,212 |
| 事業未収金 | 8,481,073 | 5,066,880 | 3,414,193 | 2,204,449 | △117,419 |
| 未収金 | 74,880 | 84,050 | △9,170 | 58,050 | △2,711,330 |
| 貯蔵品 | 174,460 | 172,224 | 2,236 | 124,002 | 68,913 |
| 前払費用 | 0 | 222,000 | △222,000 | 3,880,000 | △2,175,000 |
| 固定資産 | 44,894,436 | 44,163,423 | 731,013 | 19,644,630 | 1,383,915 |
| その他の固定資産 | 44,894,436 | 44,163,423 | 731,013 | 19,644,630 | 1,383,915 |
| 建物 | 6,486,360 | 6,486,360 | 0 | 26,914,016 | △4,327,133 |
| 建物減価償却累計額 △ | 5,949,854 | 5,838,854 | 111,000 | 76,088 | △29,452 |
| 構築物 | 3,947,400 | 3,947,400 | 0 | 76,088 | △29,452 |
| 構築物減価償却累計額 △ | 2,006,595 | 1,611,855 | 394,740 | 22,500,000 | 0 |
| 車輛運搬具 | 544,080 | 544,080 | 0 | 10,000,000 | 0 |
| 車輛運搬具減価償却累計額 △ | 544,076 | 544,076 | 0 | 12,500,000 | 0 |
| 器具及び備品 | 3,008,704 | 3,008,704 | 0 | 28,892,336 | 7,076,780 |
| 器具及び備品減価償却累計額 △ | 2,736,213 | 2,589,051 | 147,162 | 28,892,336 | 7,076,780 |
| 保育所繰越積立資産 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 | 7,076,780 | 2,482,985 |
| 保育所施設・設備整備積立資産 | 12,500,000 | 12,500,000 | 0 | 51,468,424 | 7,047,328 |
| 退職給付引当資産 | 19,644,630 | 18,260,715 | 1,383,915 | 78,382,440 | 2,720,195 |
| 資産の部合計 | 78,382,440 | 75,662,245 | 2,720,195 | 負債及び純資産の部合計 | 2,720,195 |
| | | | | 純 資 産 の 部 | |
| | | | | 国庫補助金等特別積立金 | 105,540 |
| | | | | 国庫補助金等特別積立金 | 105,540 |
| | | | | その他の積立金 | 22,500,000 |
| | | | | 保育所人件積立金 | 10,000,000 |
| | | | | 保育所施設・設備整備積立金 | 12,500,000 |
| | | | | 次期繰越活動増減差額 | 21,815,556 |
| | | | | 次期繰越活動増減差額 | 28,892,336 |
| | | | | (うち当期活動増減差額) | 21,815,556 |
| | | | | 純資産の部合計 | 7,076,780 |
| | | | | 負債及び純資産の部合計 | 2,482,985 |